

修正意見等への対応表【第1部会＋第2部会】

↓ ページ番号は、【資料 24】基本計画(修正案)における該当ページを示す

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針
全体	参考指標	—	1	参考指標の「方向性」の項目名を、分かりやすく「めざす方向性」に変更を	修正 ご意見を踏まえ、各節の項目記載を修正（めざす方向性）
1-1	現状と課題	P3	2	「同和問題」の記載がない	修正 同和問題の記載を追加
			3	ワークライフバランスに町職員も取り組んでいるようなことを入れたらどうか	他項目で対応 7-1 の働き方改革への対応記載に包含
	① 人権・平和施策の推進	P4	4	・個人情報保護についての記載がほしい ・どこかに入っていればよいのでは	修正 1-1 の「現状と課題」に個人情報の流出等の課題記載を追加。個人情報保護の取組は 1-2-④ に記載。
			5	性的マイノリティに対する窓口等での配慮、同性パートナーへの施策など、外国人・障害者も含む少数者への配慮について記載できないか	修正 さまざまな人権課題への配慮についての記載を追加
	② 男女共同参画の推進	P4	6	DV 支援が記載されているが、「デートDV」要素を追加できないか	修正 現状と課題にデート DV の表記を追加
			7	性暴力、性犯罪等についての記載を追加できないか	修正 男女間の暴力や人権侵害の防止に向けた取組の記載を整理（DV のほか性犯罪やハラスメント等を包含した表現に）
	1-2	現状と課題	P5	8	「町は、住民意思に基づいて町政運営を行う」などの記載を入れてほしい。
① 参画・協働のまちづくりの推進		P6	9	町的意思決定に住民意見を反映させていくような内容を入れてほしい	原文維持 ①では参画機会の提供を、③では多様な手法での広聴実施及び町の施策等への反映を記載
② 地域コミュニティ・住民活動への支援		P6	10	災害時などに自治会や P T A 等の組織は重要かつ機能的に活用できると思うので、その点を詳しく記載してほしい	修正 現状と課題で、コミュニティの役割等の表現を整理
			11	・少子高齢化を踏まえた高齢者の活用 ・地域での子育て、高齢者との交流など	他項目で対応 高齢者の活躍は 4-3-④で、子どもの見守り等は 5-1-⑥で記載 世代間交流の記載は現状と課題に追加
			12	コミュニティ活動には場所が必要。集会所などは老朽化しており、経費の支援など、そうした部分が抜けているのでは？	原文維持 自治会等への各種支援は、現在の記載（活動支援、活発なコミュニティ活動が行われる環境づくり）で総括的に表現
13	校区変更で PTA・保護者等も地域で分かれる。継続的な校区を。	原文維持 ご意見として伺います。			
1-2	参考指標	P6	14	自治会加入世帯数が記載されているが、加入率も分かった方がよいのでは	原文維持 参考資料(参考指標一覧)において、加入率及び近隣状況等の参考情報を提供

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
1-3	現状と課題	P7	15	国際化について記載しているが、入管法改正に伴い外国人労働者が増加していくことを記載した方がよいのでは	原文維持	現在の記載(少子高齢化や労働環境など日本の社会経済情勢の変化を背景に、等)に包含
	② 多文化共生の地域づくり	P8	16	「日本語をうまく話せない人もいることから」の表現に違和感	修正	記載を一部削除
			17	外国人世帯で子は日本語上達するが、親はうまく話せない。子と親でのコミュニケーションの問題。日本語習得支援だけすればよいものでもない。そうした視点がほしい。	原文維持	現在の表現(相談支援、日常生活・学校生活を支援)に包含
2-1	現状と課題	P9	18	「豊かな自然環境や生物多様性は、」に、「確保と保全」を加えてほしい。	修正	ご意見を踏まえ記載を修正
			19	「地球温暖化問題」を「地球温暖化防止」に変更	修正	ご意見を踏まえ記載を修正
			20	清掃工場について、維持管理なのか、建替えなのか	—	ごみ処理広域化の目途が立つまでは、適切な維持管理に努め、ごみ処理を行っていく必要があります。
	(その他)	P9 P10	21	町は生物多様性の良いデータを持っているので、そのことをどこかに入れていただきたい。	個別計画 で対応	生物多様性ガイドラインに記載
			22	太陽光発電の規制など、再生可能エネルギーのことを丁寧に。燃料電池などはどこかに入れられないか。	個別計画 で対応	環境基本計画など、個別計画の改定時に対応を検討
			23	森林環境譲与税は、税源としてどれほどの効果が見込まれるのか	—	本年度の森林環境譲与税の収入は 180 万円程度を見込む。単年度の収入ではまとまった森林整備を行うには足りないため、当面は積立を行い、一定額がたまった時点で活用を予定。
			24	水の文化園の考えを生かすことが時代にもマッチするのでは	原文維持	2-1 の記載（水辺環境・地下水の保全、河川などを自然と親しみふれあう空間として活用等）に包含
	① 自然環境の保全・活用	P10	25	地下水保全の表現が後退しているのではないかと？ 地下水保全をもっと強く打ち出してほしい	修正	水辺環境と地下水保全に関する記載を修正
			26	生物多様性の保全を踏まえ、「多様な主体」等の中に、「事業者」の文言を入れられないか	修正	多様な主体の例示表現として、「ボランティアや事業者など」を追加

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
2-1	① 自然環境の保全・活用	P10	27	現状も散策・レク・学習などに活用しているとは記載しているが、環境整備にかかわることとか、自然とふれ合える住民活動の支援等のキーワードが入らないか	原文維持	2-1-①（みどりを多様な主体により保全する取組）、2-1-③（ボランティア団体への支援）などの記載に包含
			28	・豊かな水を守るため、河川と森林について定期的な調査が必要では ・河川、地下水や周辺環境に悪影響があるような施設（産廃施設）ができないよう追記できないか	原文維持	今後の個別計画・施策の参考とさせていただきます。施設の規制・指導等については、関係法令に基づき、府等と連携しながら適切に対応してまいります。
			29	（修正案）森林や河川などの豊かな自然環境を素材と捉え、散策やレクリエーション、環境体験学習など、自然に親しみふれあう空間として活用します。	修正	ご意見を参考に、記載を一部修正
			30	遊休農地活用の文言を入れてはどうか	修正	6-1 で遊休農地活用等の記載を追加
	② 環境負荷の軽減	P10	31	公共施設や企業だけではなく、一般家庭に対する記述がない	修正	家庭でできる対策についての記載を追加
	③ 環境教育・啓発の推進	P10	32	項目名に「学習」を追加してほしい	修正	項目名を修正 （環境学習・啓発の推進）
			33	・子どもの学習を重視 ・クロスカリキュラムの要素追加 ・学習を指導する人材育成も重要	修正	幼少期からの子どもへの環境教育、指導人材の育成に関する記載を追加
			34	「市民農園」のキーワード追加	修正	6-1 でファミリー農園等の記載を追加
			35	「食品ロスの軽減」、「賞味期限、消費期限の正しい理解」などを入れてほしい。児童、生徒に対しての教育だけではなく大人に対する啓発も重要。	修正	食品ロスに関する記載を追加
	④ ごみの減量・安定処理	P10	36	・「ゼロウェイスト宣言」のような分別の徹底ができないか ・ごみ排出量の累積量や一人当たり排出量がリアルタイムに発信できないか	原文維持	今後の個別計画・施策の参考とさせていただきます。分別種類を多くすることはリサイクル率の向上等に影響しますが、住民への負担にもなるため、慎重に検討する必要があります。また、排出量等の発信は、現状でリアルタイムに取りまとめることは困難と考えます。

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
2-1	④ごみの減量・安定処理	P10	37	「資源化率」の定義の記載がほしい。本町における現在の率と他市町村との比較などを踏まえ、目標値を定めることを目指してほしい。	原文維持	「資源化率」（リサイクル率）は、ごみ総排出量に含まれる資源化量（古紙・鉄・アルミ等が中間処理後に再生利用される量、集団回収の量などの合計）。 他市町村との比較は、資源化率を向上させるための施策検討の際に必要であると考えており、注視してまいります。なお、リサイクル率については、個別計画（一般廃棄物処理基本計画、環境基本計画）で既に数値目標を設定しており、進捗管理を行いながら施策を進めているところです。
	⑤環境衛生・美化の推進	P10	38	不法投棄の記述があるが、河川、地下水、生物に悪影響もあるので、それを追記すべきでは	原文維持	自然や住環境等に影響があるため監視等を行っているものですが、基本計画では総合的な記載としています。
39			（修正案）住民の生活環境の保持及び動物愛護意識の高揚のため、ペット飼育のマナー向上に向けた取組や、 <u>野生化したペットや野生動物への餌やり禁止</u> 、 <u>所有者不明猫対策を進めます</u> 。	修正	記載を一部修正（「など」を追加） 野生動物等への餌やりについては、ホームページ等で注意喚起を行っています。	
2-2	①計画的な土地利用の推進	P13	40	・「都市計画マスタープランに基づき」と記載しているが、どちらが上位か分かりやすく書いてほしい。 ・「基づき」の表現の見直しを	修正	・分かりやすく記載を修正（他の施策方向の記載も含め、個別計画名は省略） ・序論において総合計画の最上位の位置付けを示しており、基本計画記載の関連計画は、すべて下位計画となります。
			41	「地籍調査」の要素を入れられないか	修正	6-1に森林の所有者把握等に関する記載を追加
			42	「生産緑地」は出てくるが、「ファミリー農園」も記載できないか	修正	6-1でファミリー農園等の記載を追加
			43	グリーンインフラの用語	個別計画 で対応	都市計画マスタープランの改定時等に検討
			44	（修正案）JR島本駅西地区においては、土地区画整理事業により、まちな顔となる玄関口にふさわしい良質な地域となるよう、まちづくりを推進します。	修正	ご意見を参考に記載を一部修正
			45	「コンパクトな都市構造の形成」についてもっと記載できないか	個別計画 で対応	基本計画では現状の表現とし、都市計画マスタープラン等の個別計画において詳細な記載を検討

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
2-2	②良好な住環境の形成	P13	46	「開発行為等」の記載が分かりにくい。もう少し具体的に	修正	分かりやすく記載を修正 開発指導は、一定規模以上の開発行為を行う前に、駐車場の設置、ごみ収集場の設置、公園の最小面積など、周辺と調和した良好な住環境の形成等を目的として協議を行うもの。
			47	防災や周囲環境悪化の観点だけではなく、空間・土地の有効活用の観点から、空家防止対策を考えていく必要がある。	修正	現状と課題に「空家の利活用」表現を追加。具体的な対策については、現在策定中の「空家等対策計画」で検討。
			48	本町の特性、地域性(樹種等)を生かした、といったキーワードの盛り込み	原文維持	基本計画では現状の表現とします。 緑化の実施に際しては、地域性や維持管理等を総合的に検討。
	③景観形成・緑化の推進	P13	49	景観条例、高さ規制について	個別計画 で対応	景観に係る詳細については、都市計画マスタープラン等の改定時に検討。総合計画策定後、都市計画マスタープランの改定や景観計画の策定などの取組を積極的に進めてまいります。
			50	(記載の追加案) ●良好な住宅環境を図るために、森林に近接する宅地開発は抑制し、既存の住宅地においては、森林との間に緩衝地帯（バッファゾーン）を設けるなどして、両者の環境の保全に努めます。	原文維持	個人の財産権にも影響を及ぼす内容であり、個別計画の改定・策定時に議論すべき内容と考えます。
			51	四次総計の実施状況資料について 「景観形成作物」とは何か	—	レンゲ、コスモス、ヒマワリなど、遊休農地などで栽培し、美しい景観形成に資する植物を指しています。
	関連計画	P13	52	「緑の基本計画」は記載しないのか	原文維持	同計画は目標年次を H30 年としており、現時点で改定を予定していないため、関連する個別計画に記載していません。今後については、他市町村の動向等を踏まえ検討してまいります。
2-3	(その他)	P14 P15	53	道路・河川・公園等の有効活用について、戦術的にどうしていくかについて書いてはどうか。	他項目で 対応	7-1-③でインフラを含む公共施設の適正管理について記載
	①交通環境づくり	P15	54	路線バスの運行について、事業者との調整を適宜行うなどの表現はできないか	原文維持	関係機関との連携については、2-3-①に包含。町としては地域の利便性向上に向けた要望を過去から行っており、今後も必要に応じ、適宜協議等を行ってまいります。

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針
2-3	①交通環境づくり	P15	55	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交通手段の充実について記載してほしい。量的な増大に努める等の方向性を記載してほしい。 ・福祉ふれあいバスの充実がこれ以上難しいのであれば、バス会社とタイアップや、コミュニティバスの拡充（有料）等何か記載できないか。 	原文維持 将来の高齢者増加等も踏まえ、外出支援・移動手段の確保に努める方向性を記載しています。
	②計画的な道路整備	P15	56	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備に子どもの視点が抜けているのでは ・通学路の安全性についての記述を追加してほしい 	原文維持 <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全確保については 3-3 に記載 ・子どもを含む道路の安全確保等については、原文の「歩行者・自転車利用者に配慮した道路整備」の表現に包含
			57	<ul style="list-style-type: none"> ・「歩行者や自転車に配慮した」に「安全」を追加してほしい ・安全を入れることで範囲が狭くなるとの意見もあり 	原文維持 「配慮」の表現には、安全面以外に、利便性向上などの要素を包含しており、原文の表現とさせていただきます。
			58	<ul style="list-style-type: none"> ・今後 10 年の目標として、計画的な道路整備について入れるべきではないか ・計画的な道路の改修の中で、う回路についても考えてほしい。都市計画道路を含め、町の計画的な道路管理について、何かキーワードを入れられれば。 	修正 計画的な道路整備についての記載を整理
			59	<ul style="list-style-type: none"> ・水路上の歩道、水路の蓋のない箇所の整備等について 	原文維持 現状の道路整備の表現に包含
			60	<ul style="list-style-type: none"> ・西国街道の一部は一方通行化などをした方がよい。交通状況が変わってきている場所については信号の新設などが必要。 	原文維持 一方通行規制は公安委員会の所管ですが、地域の合意形成などを考慮すると実現は困難と聞き及んでいます。一時的な混雑が発生する交差点等については、これまでも対策をしたうえで検証し、都度対応しているところです。
	③公園の整備・維持管理	P15	61	<ul style="list-style-type: none"> ・公園面積を増やすという積極的記述があってもよいのでは ・「遊具の定期点検」とあるが、遊具のスクラブも必要ではないか ・整備・拡充などの表現ができないか ・利用者ニーズや地域性を踏まえた遊具設置など 	修正 公園の整備、遊具等に関する記載を整理

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
2-4	④計画的な施設の維持管理	P17	62	耐震対策以外に、水道施設の浸水対策、非常時の自家発電などについて	修正	防災対策に関する記載を追加
			63	上下水道の耐震化について 「危険度に応じた耐震化」の文言	原文維持	水道管路耐震化の優先順位については、管種・布設年度等から評価する物理的評価と、管路が受け持つ重要性の評価等から多角的に評価分析し、計画に基づき計画的に更新を行っています。 「危険度に応じた耐震化」については、耐震化を行わなくても年数経過により管は老朽化し、布設替えが必要となることから、費用対効果を考えると耐震管により布設替えしていくことが望ましいと考えています。
			64	専門性をもった職員の採用や養成についての記載を	他項目で対応	町の人材育成等については、7-1-⑤において総括的に記載
3-1	現状と課題	P18	65	(修正案) ～ハード・ソフトの両面から、防災・減災への取組を関係者と連携して、 <u>想定外被害の発生防止を進める</u> ことが必要です。 (停電によるインフラの停止、例えばポンプアップ機能が停止、多量の雨水が雨水管や排水路から溢れる被害など)	原文維持	現在の表現(突発的な集中豪雨、台風の大型化)に、想定外の災害についての表現を包含
	②防災力の強化	P19	66	多チャンネルでの情報発信の表記は、情報機器等の使えない高齢者に対応していない。	修正	多様な手法での情報発信について、広報車の追加など、記載を修正
			67	各種ハザードマップの周知方法など、分かりやすい情報提供等についての表現が入られないか	修正	わかりやすい情報提供についての記載を追加
			68	避難行動要支援者への支援には自主防災会以外に民生委員などもかかわっている。	修正	「地域の支援機関」の例示表現として、「自主防災会・自治会・社会福祉協議会・民生委員児童委員などの」を追加
			69	避難行動要支援者名簿の配布は、個人情報取扱いの関係で進んでいない部分もあると聞く。取組記載に「個人情報保護に配慮し」などを追加しては	原文維持	表現については原文を維持しますが、地域の支援機関に対しては、同制度の趣旨や名簿の適切な保管・活用等も含め、引き続き、説明や働きかけを行ってまいります。
70	避難所のクオリティ(バリアフリー、空調など)について盛り込めないか	修正	避難所の環境整備についての記載を追加			

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
3-1	④土砂災害・水害・浸水対策の推進	P19	71	保安林指定など今後に向けての対策は記載されているが、台風倒木被害の「復旧を進める」等の記載がほしい	他項目で対応	6-1 の「現状と課題」で台風被害について記載しており、「施策方向」でも連携により森林整備を進めると記載（倒木処理等についても現状の整備表現に包含）
	関連計画	P20	72	3-1-④にも雨水幹線等について記載しており、2-4 に記載している計画をこちらにも記載すべきでは	修正	関連する個別計画等に公共下水道事業計画を追加
3-2	③救急救助体制の充実	P22	73	AED について記載すべき	修正	AED についての記載を追加
3-3	現状と課題	P23	74	スマホのながら運転について入れてほしい	原文維持	「ながら運転」も「危険運転」の表現に包含
	①交通安全対策の推進	P24	75	事故発生箇所など、危険箇所の情報の共有などについて記載できないか	修正	危険箇所の把握・共有についての記載を追加
	②防犯対策の推進	P24	76	・通学路の防犯カメラ設置をもっと進めないのか。「設置への支援」の表現がわかりにくい。 ・「防犯カメラ設置への支援」について、文言をもう少し検討いただきたい。	修正	「防犯カメラ設置への支援」→「防犯カメラの設置」に修正
			77	子ども 110 番の家について入れてほしい	修正	地域と連携した防犯活動に関する記載を整理。（子どもの安全については、5-1-⑥にも記載）
4-1	①健康づくりの推進	P26	78	子どもを受動喫煙から守る取組等の記載を	個別計画で対応	個別計画（方針）において、受動喫煙対策等のたばこに関する取組を記載
4-2	現状と課題	P27	79	「急速な少子高齢化の進行や家族形態の多様化によって、住民ニーズは多様化・複雑化」とあるが、表現としてどうか？ 「急速な少子化が進行するとともに」などと分けたらどうか？	修正	背景や環境の変化等の表現を整理
			80	「本町の自殺者数は年数人程度で推移」とあるが、書かないといけないのか	修正	自殺者数の文章削除
	①地域の見守り、助け合い、支え合いの充実	P28	81	「見守りや支え合いの地域活動を促進」のところに、子どものことを追加できないか？	他項目で対応	子どもの見守り等は 5-1-⑥で記載
			82	小地域ネットワーク（事業名）、民生委員児童委員(個人)が並列となっている。並べるなら、民生委員児童委員協議会などにするべきでは。	修正	小地域ネットワークを中心とする地域の支え合い等の表現を整理

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
4-2	①地域の見守り、助け合い、支え合いの充実	P28	83	ボランティアなどの記載に「地区福祉委員」の表現追加を	修正	地区福祉委員の記載を追加
	②相談支援体制の強化		P28	84	・CSWの配置について記載しているが、地域の相談支援体制は他にもある ・CSWの配置の表現が増員のように読み取れる	修正
		85		(地域の支援機関の記載順) 民生委員児童委員、CSW、地区福祉委員の順に	修正	ご意見を踏まえ記載順を修正
		86		子どもの貧困対策などで、SSWを積極的に配置するとか、学校現場で子供たちの貧困のシグナルを見つけるとか、そうした記述が必要では？	他項目で対応	5-1-⑥で子どもの貧困対策について記載
		87		・アウトリーチ、相談のワンストップ化など ・ひきこもりの追加、相談窓口の明確化	修正	相談窓口の「周知」と「連携強化」の表現を追加。(アウトリーチの考え方は、現状と課題に記載)
	88	相談窓口の周知だけでなく、各種施策の周知についても入れてほしい。	修正	各種施策の周知については、福祉分野以外も関係するため、1-2-③広報広聴項目に各種サービス・制度の周知に関する記載を追加		
4-4	現状と課題	P31	89	「障害をもつ人」とあるが、他の項目では「障害のある人」と表記している。	修正	「障害のある人」に統一
	①相談・療育支援体制の充実	P32	90	「障害者地域生活支援拠点を中心として」と記載しているが、町の関与や特色が分かりにくいのではないかと。	修正	町と関係機関の連携についての表現を整理
			91	障害児への療育支援について、「各分野の連携」より踏み込んだ表現ができないかと。	修正	連携強化の表現を追加
4-5	①生涯学習・社会教育の推進	P34	92	「生涯学習の機会の提供」は記載しているが、「場の提供」についても記載できないかと。	原文維持	生涯学習機会の提供の中に場所等の提供も包含
	③スポーツ・レクリエーション活動の推進	P34	93	四次総計で記載のあった「指導者の養成」の記述がない。	原文維持	既存の「団体活動の支援」の中に指導者確保等への支援も包含
			94	障害者スポーツの推進についても追加を。	他項目で対応	4-4-②でスポーツ等の障害者の当事者活動支援を記載

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
5-1	現状と課題	P35	95	通学路での防犯カメラの拡充などの記載ができないか	修正	防犯対策としては 3-3-②に記載。5-1 では、「現状と課題」に子どもの安全確保の関係で防犯カメラの記載を追加。
	④保育・幼児教育・学童保育の推進	P36	96	・待機児童解消のためだけの人材確保ではなく、多様な保育サービスに対応する人材確保が必要ではないか。 ・学童保育について、今後の利用児童の増加に対応して、施設や指導員確保の記載が必要では	修正	・子育て支援を担う人材確保についての記載を整理 ・学童保育の保育室確保の記載を追加
	⑧青少年の健全育成	P37	97	青年世代の「居場所の確保」等について記載できないか。	原文維持	中高生等の居場所確保は 5-1-⑦に包含。それ以上の年齢層の居場所等については、現状記載の「青少年健全育成の検討・実施」の中で検討に努めていく。
5-2	現状と課題	P38	98	現状と課題に、ゆめ本部などのボランティアと連携した学習支援など、町ならではの取組を書けないか	修正	現状の取組記載を追加
	①教育環境の充実	P39	99	学校施設について、維持補修だけでなく、今後の児童・生徒の増加に対応して、施設整備等の記載が必要では	修正	児童・生徒数を踏まえた教室確保の記載を追加して表現を整理
			100	・教員の働き方改革について、部活動、教職員の負担軽減などの追加が必要では ・部活動の指導のために、地域の人材を活用してもよいのでは	原文維持	・部活動等の取組内容については、「働き方改革」の表現に包含 ・地域人材活用は、5-2-③の記載（地域の力を生かした学校運営）に包含
			101	教職員をはじめ、カウンセラー、部活の外部指導者、事務員など、スクールスタッフの確保について記載できないか	修正	学校教育を担う人材の確保に関する記載を追加
	②教育活動の充実	P39	102	不登校児に対する対応について、フリースクールなど学校以外の場の活用などを記載できないか。	原文維持	不登校への対応の表現に包含
6-1	現状と課題	P41	103	農業も林業も高齢化し担い手不足で、この先従事できない人も出てくる状況が起りうるので、そういったことをもう少し記載できないか	原文維持	「現状と課題」において、後継者不足等の課題を示し、「施策方向」で「多様な担い手による営農環境の整備」や「連携により森林の保全を進める」としていることから、現状のままとする。
	①商工業の振興	P42	104	企業誘致について、メリットを示す方策が必要。スタートアップなどのキーワード追加できないか	原文維持	今後の個別施策の参考とさせていただきます。（スタートアップ等の個別対応策については、「創業者への支援」の表現に包含）

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
6-1	②都市農業・林業の振興	P42	105	ファミリー農園について記載してはどうか	修正	遊休農地活用、ファミリー農園についての記載を追加
			106	農とふれあい機会はファミリー農園のみではないので、「など」を加えてはどうか	修正	「など」を追加
			107	防災、地下水かん養、文化など、農地の多面的な機能について入れてはどうか	他項目で対応	2-1、2-2でも記載
			108	有害鳥獣対策→有害鳥獣被害防止対策に修正を	修正	ご意見を踏まえ表現を修正
			109	水路など農業用施設も重要	修正	農業用施設についての記載を追加
		参考指標	P42	110	(修正案) 大阪府や企業、ボランティアとの連携により、森林の保全整備を進めるとともに、林産物のPRや流通のしくみ作り ¹⁾ に努めます。	修正
		P42	111	参考指標にファミリー農園利用者を入れてはどうか	修正	参考指標に「ファミリー農園利用区画数」を追加
6-2	②文化財の保護と調査研究	P44	112	今年大沢山林火災が発生した際、極楽寺の重要なもの(本尊なども)も避難した。文化財は、常に盗難、水害、火災などの危機にさらされている。	—	今後の施策の参考とさせていただきます。
	③歴史文化遺産を活用した地域づくり	P44	113	ふるさとの歴史に関する教育も重要なので入れてほしい	修正	子どもたちへの教育に関する記載を追加
	参考指標	P44	114	調査研究が重要。町文化財の指定件数でなく、調査件数を指標にできないか	原文維持	さまざまな資料や歴史遺産についての調査研究を進めた上で、重要なものについては文化財指定の手続き等を行い、保存や活用の取組を進めていきます。文化財指定件数の増加は、これらの一連の取組の推進状況を測る上で一定の目安となるものと考えます。
6-3	現状と課題	P45	115	サントリーだけでなく、尺代漁協(アマゴ・ます釣り場)も入れてほしい	修正	水無瀬川などの自然、歴史文化遺産などのスポットについての表現を追加
	①観光振興とにぎわいづくりの推進	P46	116	・にぎわいづくりに取り組む団体への支援(事業や打合せの際の施設減免など活動の場の確保支援できないか) ・町の後援でそうした支援ができないか?	原文維持	ご意見として伺い、今後の個別施策の参考とさせていただきます。

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
6-3	①観光振興と にぎわいづく りの推進	P46	117	名水サミットがあり、各地巡回で行われている。6-2 又は 6-3 で、離宮の水というものがあることでもあるし、町ブランドの一層の宣伝と、水と緑の島本というアイデンティティもあるので、「名水サミットに参加して町 PR」という、町外への攻めの姿勢を入れてはどうか。	原文維持	今後の個別施策の参考とさせていただきます。
			118	JR・阪急の駅の活用を考えてほしい (駅前を中心とした賑わいづくり等)	原文維持	記載については原文を維持しますが、観光振興や賑わいづくり等の取組にあたっては、イベント開催など、駅前周辺を十分に活用してまいります。